

通信 とともに

第64号
2018年9月14日発行
認定NPO法人とともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com> ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

わっくわくコンサート開催

8月22日、わっくわく食堂で「第2回わっくわくコンサート」を開催しました。アーティストは昨年に続いて「音の和music 川原一紗@藤川潤司」*2のお二方でした。今回のコンサートで新曲を初披露する場面もあり、平日の日中ながら来場した16人のお客さまは、伸びやかな歌声と民族楽器のコラボレーションに酔いしれました。

コンサートを前に北海道新聞社さまが後志地方面にお知らせを掲載していただきました。小樽から駆けつけたというファンの方は、昨年美唄市で開かれたコンサートに行って魅力を感じたとのことで、熱心に聞き入っていました。また当法人の活動にも関心をよせていただきました。

今年も楽しい音楽をありがとうございます。



わっくわくまつり特別編成のため「法人10周年 あの時」はお休みします

第62号『支援者のためのWRAP「くらっぷ」開講』記事のなかで、「次回は8月29日で隔月最終水曜日に開催します」と掲載しましたが、隔月第4水曜日の誤りで8月は22日の開催でした。お詫びして訂正いたします。大変申しわけございません。

次回は10月24日水曜日、倶知安厚生病院こころの総合支援センターでおこないます。支援者のみなさまの参加をお待ちしております。

訂正とお詫び

精神科医 土田正一郎の

その53 自罰、他罰、無罰

裁判所では、有罪か無罪かしかないかもしれないが、私たちには「無罰」がある。私は悪意はなく、善意のみ、ただひたすら君の幸せのみを考えていた。君も喜びを求め、恨むことなくただ世界の平和のみを祈っていた。

けれど、そこに現れたのが悲しみだとしたら、それを「無罰」と呼ぶことにしよう。「無罰」に辿り着くことができるだろうか。

ともに顧問(自称)



各事業報告～8月末現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい	契約/移行2人、B型19人 見学/2人、体験/1人
グループホーム よろこび	利用者 21人(定員22人) 見学/0人、体験/0人

- ◆法人会員 正会員20人、賛助会員 団体2 個人88人
- ◆30年度寄付金 のべ11人 103,075円
- ◆寄付物品 ハンガー、コーヒーミル、コーヒー豆、ごみ袋衣類(パジャマ)、飲料、キーホルダー

編集後記 北海道は9月台風と地震の災害が相次ぎました。被害に遭われた方に心からお見舞い申し上げます。今号は災害発生前に編集した記事であることをご了承ください。次号で当法人が直面した影響とその課題について詳しく書く予定です。(かわさき)

今月の一枚



わっくわくまつり 元気に販売*1
(ワークショップようていしさん撮影)

当法人主催イベントのお知らせ

9月17日 第3回ソーシャルフットボールとともにカップ

開催場所：旧倶知安町立東陵中学校体育館
倶知安町、札幌市、小樽市、名寄市のチームが集結し、熱戦を繰り広げます。迎え撃つK.S.C. Juntosは？ ご期待ください。



昨年ようす (Juntos対ふおれすと)

10月27日 法人設立10周年記念 みんなで学ぼう拡大版

～地域・職場での心の健康を考えよう～ 会場：ホテル第一会館 3階ホール(入場無料)
講演：この10年で変わったこと 変わらなかったこと
講師 伊藤 知之氏 [浦河べてるの家 精神保健福祉士]

シンポジウム；地域福祉の共創を考える
シンポジスト 駒田 拓朗氏 [社会福祉法人 京極町社会福祉協議会 権利擁護係 係長]
安田 亜子氏 [NPO法人しりべし圏域総合支援センター 理事長]
川上 幸弘氏 [地域生活支援センターしりべし
ピアサポーター・エキスパーティ(困難克服の熟練者)]
コーディネーター 土田正一郎先生 [倶知安厚生病院 精神神経科診療部長]
※くわしくは次号に折り込む予定のチラシをごらんください。

ドキュメント 第3回わっくわくまつり

10:00 わっくわくまつり開祭

前日から降っていた雨は朝のうちに止み、青空が広がりました。
小林理事長の開祭宣言のあと、各ブースが開店。ふるまいぜんざいは用意した100食が午前中のうちに完売しました。

各ブースで活躍したみなさん

撮影：Uさん&製造部職員（ワークショップようてい）

コミュニティカフェ わっくわく



お祭り価格で豚汁とおにぎりのセット、ケーキ、クッキー、ドリンクを販売しました。



製造部

ボタン飾りづくり体験や小物を中心とした販売が人気で人が集まりました。

農業部

自然栽培で穫れたての野菜を販売。買った方に畑で育てたひまわりをプレゼントし好評でした。



ありかさん/喫茶陽だまりさん

チキンカツサンドとたこ焼きを販売。大人気で午前中に完売です。

夢の匠さん

焼きそばを販売し、用意した25食は午前中で完売しました。



※イメージ

フリーマーケット(9店)

前回は参加した人の話では、今年は大人のお客さんが多く、品物をたくさん買ってくれたとのこと。



12:00 青空ライブ



シエクター4398さんが企画し、倶知安厚生病院の看護士とソーシャルワーカーが組んだユニット「K-Night Flower」と一緒にライブをしました。

前半はK-Night Flowerが披露し、後半にシエクター4398さんのソロライブという構成です。アンコールでは3人のジョイントでオリジナル曲を演奏しました。

聞こえてくる音楽につられておまつりに足を運ぶお客さんもいましたよ。

13:30 大抽せん会

恒例の抽選会、ワークショップようてい各部の賞品を30点用意しました。番号を読み上げるたびにあちこちから歓声や落胆の声が上がリ、今年も盛況のうちに終了しました。閉祭式は実行委員から一言ずつ自分の思いを話し、お祭りを締めくくりました。



おまつり実行委員のことは

Mさん：
チラシ配布などの広報活動がんばりました。協力してくれたみなさんありがとうございました。

Oさん：
大変なことはありましたが、ロゴマークやチラシ配布などみんなと楽しくできました。ありがとうございました。

シエクター4398さん：
構想一年、念願だったライブの夢がかないました。みなさんのおかげでまつりが盛り上がりました。ありがとうございます。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい

くっちゃん福祉まつりに出店

倶知安社会福祉協議会主催、毎年恒例の倶知安福祉まつりが8月26日におこなわれ、ワークショップようていも出店しました。

前日雨が降り、当日も肌寒い天気です。いつもより人出が少なかったですが、来場者は夏の終わりのひとときを楽しんでいたようです。

調理部ではクッキーとアイスコーヒー、スピードくじを販売しました。利用者のSさんは「がんばってやりました。たくさん人が来て、売れ行きも良かったのでほっとしました」と話しています。

製造部はボタン飾りづくり体験と小物販売をおこない、子どもたちが集まりました。農業部では自然栽培で育てた農作物を販売。かぼちゃの生育が遅れて出荷できず、残念そうなお客さんもいましたが、じゃがいも詰め放題は高い人気がありました。

